

評価点 5：優れている 4：やや優れている 3：概ね適正である 2：改善に向けた検討が必要である 1：早急な改善が必要である

評価項目	評価基準	評価点	評価の理由
施設コンセプトに基づく取組	次世代育成につながる具体的な取組を実施した。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■図書館を身近に感じてもらうため、おはなし会を中心とした幼児・児童向けイベントを行っている。</li> <li>・図書館単独でのおはなし会とおだびよ子育て支援センターと連携したおはなし会を行っている。</li> <li>・季節のおはなし会を2回実施した。</li> <li>・小学生を対象に「読書の秘訣カード」を使った読書推進ワークショップを実施した。</li> <li>・子どもが子どもに紙芝居の読み聞かせを行う紙しばい道場を図工作家ミノオカ・リョウスケさんの指導のもとに実施した。</li> <li>・夏休みの児童対象の事業として、一日図書館員、スタンプラリー、ぬいぐるみおとまり会、歴史さんぽイベントを実施。</li> </ul>
	利用者拡大につながる具体的な取組を実施した。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■図書館を広く周知し、新規利用者、リピーターが多く集まる魅力ある図書館づくりのため、様々なイベントを行っている。</li> <li>・開館2周年記念としてブックカバーを配布した。</li> <li>・利用者に情報提供や書架で眠っている本の掘り起こしも兼ねて、一般、児童、ティーンズ向けの企画展示を随時行っている。</li> <li>・季節ごとに館内装飾を替えるなど、快適な空間演出を行っている。</li> <li>・一般向けに、絵本編集者の講座、読み語り講師による絵本講座、鉄道に関連した絵本の読み語りなどの絵本に関連したイベントを実施した。</li> <li>・新しいジャンルのイベントとして、クリスマス演奏会、文学と音楽鑑賞会、雑貨コンサルタントによる雑貨講座を実施した。</li> <li>・読売新聞担当者による「ヨミダス歴史館の使い方」講座を実施した。</li> </ul>
	まちの活性化につながる具体的な取組を実施した。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■小田原の様々なコンテンツを紹介し、街、人を応援するためのイベント、展示を行った。</li> <li>・おだわら情報・企画展コーナーに、観光案内パンフレット、市の情報チラシ、広報、タウンニュース等を置く書架を常設し、来館者に広く小田原を周知している。</li> <li>・小田原市内の商店を紹介する展示を2回行った。（第4回豆汽車・第5回平井書店）</li> <li>・伝統工芸と現代アートの展示会「小田原もあ展」を実施。ワークショップも行った。</li> <li>・小田原在住の画家たなかきよおさんの展示会と公開制作を実施した。</li> <li>・小田原の画家小暮次郎の絵画展を行った。</li> </ul>
	立地を生かした事業など具体的な取組を実施した。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■近隣施設と連携を行っている。</li> <li>・小田原駅に近い図書館として、JR東日本小田原駅と連携してイベントを行った。</li> <li>・UMECOと連携して、朗読会を実施した。</li> </ul>
職員の育成	適切な研修体制を整備し、職員の指導育成を図った。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本部や責任者による研修を計画、実施している。</li> <li>・修理研修、接遇研修、レファレンス研修、認知症研修を実施し、職員・スタッフのスキル向上に努めた。</li> </ul>
窓口サービスに関する取組	窓口業務をはじめとした利用者への対応は、常に適切であった。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各図書館員が小田原市の図書館ルールを把握し、丁寧に利用者に対応している。</li> <li>・混雑時でも臨機応変に対応できる人員配置を心掛け、適切に図書館業務を行っている。</li> <li>・新人研修、接遇研修等で、服装や言葉使いなどの指導を行い、「専門知識を持ったおもてなしのプロ」を育成している。</li> <li>・利用者からのクレームには迅速に対応している。</li> </ul>
	利用者ニーズを把握するため、利用者の声を聞いたりアンケートをとるなど、具体的な取組を行った。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■カウンターに直接寄せられる意見、ご意見箱、アンケートに寄せられた意見は、接遇や選書に生かしている。</li> <li>・ご意見箱を設置し、利用者からの意見、指摘を基に、業務の改善を図っている。</li> <li>・ご意見箱からの意見、カウンターへの口頭での意見を参考に改善できることは、すぐに対応している。</li> <li>・令和3年度3月に行った利用者アンケートを令和4年度の運営の参考とした。令和4年度は12月にアンケートを実施した。</li> </ul>
	レファレンス機能の充実を図るための取組を行い、レファレンス利用者からの求めに対し、的確に応じることができた。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■レファレンスノートやレファレンス研修を通して利用者の疑問・要望にお答えしている。</li> <li>・スタッフの手に余るような場合は、職員が引き継いで行っている。</li> <li>・レファレンス記録を作成し、レファレンス内容を図書館員に周知している。</li> <li>・レファレンスに役立つ資料も徐々に増やしている。</li> <li>・郷土についてのレファレンス研修を行った。</li> </ul>
	高齢者、障がい者、外国人等に配慮するため、具体的な取組を実施した。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■高齢者、障がい者、外国人等へのサービスが充実した優しい図書館を目指している。</li> <li>・閲覧席に高齢者、障がい者のための優先席を設置している。</li> <li>・拡大読書器を常設している。</li> <li>・障がい者サービスの内容について中央図書館と検討している。</li> <li>・小田原で開業しているひまわりメンタルクリニックの精神科医小林博子さんによる認知症講座を実施した。</li> <li>・図書館員を対象に、地域包括支援センターによる認知症サポート養成講座を行った。</li> </ul>

評価点 5：優れている 4：やや優れている 3：概ね適正である 2：改善に向けた検討が必要である 1：早急な改善が必要である

評価項目	評価基準	評価点	評価の理由
事業実施・情報発信	地域の魅力を発信するため、地域の諸団体と連携するなど具体的な取組を実施した。	5	<p>■市の関連部署、NPO、ボランティア団体と連携してイベントを計画、実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おだわら情報・企画展示コーナーを中心に、小田原出身の作家コーナー、小田原関連資料の充実を図っている。</li> <li>・市の協力により、小田原もあ展（工芸と現代アート）とワークショップを実施した。</li> <li>・JR東日本小田原駅と連携した鉄道写真展と子ども向けイベントを行った。</li> <li>・小田原ガイド協会の小暮次郎イベントと連携して「小暮次郎絵画展」を行った。</li> <li>・小田原ガイド協会と連携して小学生を対象に、座学に街歩きをプラスした「歴史さんぽ」、「春休み英語チャレンジ」イベントを実施した。</li> <li>・小田原の若手木工集団「いぶき会」の展示を行った。</li> <li>・小田原の朗読ボランティア集団「声の万華鏡」による朗読会を実施した。</li> </ul>
	学校、ボランティア団体等との連携体制を築いた。	4	<p>■近隣の小中学校を中心とした学校連携のため、中央図書館と調整を行っている。連携するボランティア団体も今後増やす予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体との会と協力し、おはなし会を行っている。</li> <li>・学校連携については、中央図書館と今後の進め方について協議中である。</li> <li>・早川小学校の「図書館見学の学習まとめ」、三の丸小学校の「動物の命を大切に」をテーマとした絵本を児童コーナーに展示した。</li> </ul>
	子どもの読書活動の推進を目的とした具体的な取組を実施した。	4	<p>■児童を対象としたイベント、展示を通して、読書活動を推進している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童図書展示を随時行っている。</li> <li>・保護者の読み聞かせ、子どもの読書に関する相談を受けている。</li> <li>・ティーンズ通信を2回発行した。</li> <li>・小学生を対象とした「本の楽しみ方カード」を使って本の話をしようワークショップを実施した。</li> </ul>
	図書館の業務内容、イベントの周知を効果的にを行い、利用者層の拡大につなげた。	4	<p>■イベントの告知は、HP、館内チラシ・ポスター、Twitter、デジタルサイネージ、広報で行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館日より、ティーンズ通信を定期的に発行し、図書館情報、イベント情報を周知している。図書館日より、近隣自治体への配布も開始した。</li> <li>・近隣施設にイベントチラシの配布を依頼している。</li> </ul>
事業者の特質に基づく積極的な提案事業	利用者ニーズを的確に捉えた事業を実施し、それぞれの事業について見込まれた効果が得られた。	4	<p>■まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が発出されるなど、まだまだコロナ禍が続いており、提案した事業が予定通り行われていないが、代替事業を積極的に行い、ほぼ定員数を集めてる。</p>
	初めての利用者にも参加しやすい工夫をした。	4	<p>■わかりやすく親しみやすいチラシのデザイン、言葉のセレクトを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、ポスターは、図書館の雰囲気に合わせてデザインで統一、楽しさが伝わるようなデザインを心がけている。</li> <li>・デジタルサイネージ、ロボホンによる利用案内等で、子どもから一般の利用者に対して親しみやすい雰囲気の演出を行っている。</li> </ul>
連携事業に関する事項 （おだび子育て支援センターからの意見も反映した評価とすること）	それぞれの施設の特性や性格を生かした魅力ある連携事業を実施した。	4	<p>■隣り合った施設を最大限利用するよう心掛けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2土曜日に、おだびよとの仕切りを取り払い「ことりのおはなし会」を実施している。</li> <li>・コロナ禍の影響により、十分な連携ができていない。</li> </ul>
	利用者ニーズを的確に捉えて、成果のある事業を実施した。	4	<p>■図書館、子育て支援センターの利用者の声を共有し、事業を計画、実行している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館員2名がおだび子育て支援センターと連携し、おはなし会を月2回実施している。</li> </ul>
	小田原市のPRや魅力の発信に配慮した取組を実施した。	4	<p>■小田原市・小田原情報を盛り込んだ図書館日より、おだびよ通信を相互の施設に設置し、お互いの利用者に周知している。</p>

評価点 5：優れている 4：やや優れている 3：概ね適正である 2：改善に向けた検討が必要である 1：早急な改善が必要である

評価項目	評価基準	評価点	評価の理由
その他事項	施設の維持管理について、適切な管理ができた。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■常に清潔感、安全を維持するよう心掛けている。</li> <li>・年間計画に基づく定期清掃、トイレ備品の補充、ごみの仕分けなど適切に行っている。</li> </ul>
	施設の運営について、利用者の安全確保に配慮した運営ができた。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利用者の安全を第一に考え、危機管理マニュアル等を整えている。</li> <li>・職員による館内の巡回、監視カメラ画像の確認を定期的に行い、不審者やマナー違反者への注意を行っている。</li> <li>・導線の確保、書架、テーブルなどの角には保護用のプラスチックを貼るなど、利用者の安全に配慮している。</li> <li>・危機管理マニュアルを作成し、災害時の対応について、避難誘導の手順、避難路の確認を職員・スタッフ会議で確認した。</li> <li>・ミナカ小田原による避難訓練に参加している。</li> <li>・ミナカ小田原、おだびよと不審者情報を共有し、対策に当たっている。</li> </ul>
	トラブルの際には、適切な対応ができた。	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■クレームが起きないような接遇を心掛け、クレーム発生時には素早く対応を行っている。</li> <li>・クレーム、トラブルがあった場合、朝礼や連絡ノートに内容を記入し職員・スタッフに周知し、再発防止を図っている。</li> <li>・クレーム等は責任者に必ず引き継ぎをして、早期解決を心掛け、内容によっては中央図書館に相談をしている。</li> </ul>
	個人情報について、個人情報保護方針や対応マニュアルに準じた運用ができた。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■図書館員の個人情報に対する意識を高め、取り扱いには最善の注意を払っている。</li> <li>・個人情報の取り扱いに関する研修を行い、個人情報に対する適切な運用を行っている。</li> <li>・事務所内に個人情報の取扱いに関する注意書きを貼りだし、職員・スタッフの個人情報の取扱いに関する意識を常に高めている。</li> </ul>
	管理運営経費の節減に努めた。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■業務を効率化し、無駄を省いている。</li> <li>・不要な照明の電源オフや、適切な空調管理に努めている。</li> <li>・書類等の印刷は必要最低限に止め、ペーパーレスに努めている。</li> </ul>
	子育て支援センターとの連携など、事業者としての特徴や強みが、本施設の運営にとって有益であった。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>■子育て支援センターとは密に連絡を取り合い、情報の共有、確認を通して連携を行っている。</li> <li>・図書館員2名が月2回参加しているおだびよ子育て支援センターのおはなし会のあとは、今後の連携のあり方について意見交換を行っている。</li> <li>・連携したおはなし会を通して、おだびよ子育て支援センターの利用者に図書館周知を行っており、図書館からおだびよ子育て支援センターへ、子育て支援センターから図書館への人の流れができています。</li> <li>・図書館とおだびよ子育て支援センターのクリアな仕切りを通して、お互いの活動や様子を見ることができ、両施設の活動のアピールができています。</li> <li>・小田原短期大学と連携して、孫育講座、ボランティア講座を実施した。</li> </ul>